

海津市まちづくり委員会「第11回安全・安心まちづくり検討分科会」会議録

開催年月日	平成24年2月27日(月)	
開催場所	海津市役所 海津庁舎 3階 委員会室	
分科会委員定数	17名	
開 会	午後1時30分	
閉 会	午後2時40分	
出席者	○分科会委員	
	公募市民	白 井 春 幸
	海津地区交通安全協会長	堀 田 行 雄
	海津地区防犯協会副会長	牧 野 光 子
	海津市更生保護女性会代表	中 島 雅 子
	高須生活学校代表	加 藤 佳 余 子
	海津市自治連合会代表	宮 脇 信 幸
	海津市社会福祉協議会	水 谷 英 基
	総務課	神 田 勝 広
	福祉総務課	浅 野 貴 康
	消防課	戸 島 正
	海津警察署 生活安全課長	有 井 隆
	岐阜経済大学准教授	菊 本 舞
	○事務局 企画政策課 課長	中 島 哲 之
	〃 係長	徳 永 宗 哲
	〃 主任	毛 利 卓 司
	〃 主任	二 俣 真 琴
欠 席 者	NPO 法人 海津おやじの会	樋 口 幸 二
	公募市民	大 倉 金 次
	NPO 法人 セーフティサポートコミュニティ平田	丹 羽 公 成
	南濃北部地区防犯パトロール隊顧問	藤 田 良 博
	学校教育課	宇 佐 美 伸 幸
会 議 次 第	1. あいさつ	
	2. 検討内容	
	①報告書(案)について	
	3. 講評	
	4. 閉会	

会議録（要約）

事務局	<p>みなさんこんにちは。</p> <p>これより、海津市まちづくり委員会「第11回安全・安心まちづくり検討分科会」を開催させていただきます。</p> <p>会に先立ちまして、分科会長より一言ご挨拶をお願いします。</p>
会長	<p>（会長あいさつ）</p>
事務局	<p>ありがとうございます。事務局から前回からの修正箇所について説明させていただきます。</p> <p>（修正箇所説明）</p>
会長	<p>事務局から説明のありました報告書（案）についてご意見ありましたらお願いいたします。</p>
中島委員	<p>P3の表3段目「犯罪更正」を「犯罪更生」へ修正してください。</p>
事務局	<p>了解しました</p>
A委員	<p>「安全協会」の名称はこれでいいのだが、私の案としては、現在ある防犯協会に漏れている団体があれば防犯協会に取り込んで充実させればいいと思っている。あえて協会を作る必要はないと思う。社会福祉協議会では地区社協も動き出している。大きなテーマでいえば「安全安心まちづくり」で福祉もあっていいのだが、「防犯」がテーマなら防犯灯についてどこに必要であるとか青パトの有効活用などを考えて提案することだと思う。最近の振り込め詐欺とか携帯電話の犯罪とか書いてあって提案書の記事としていいがこれで提案していいのか。この中の新しいことは小学校区でつくる組織だけである。私のイメージとしては、この地域の犯罪で多いのは車上狙いであと振り込め詐欺があるので、それらを重点的に防ぐには地域に組織をおいて活動していかないと難しいよという提案がいいと思う。</p>
会長	<p>A委員の言われるのはもっともですが、今ここに地域ボランティア一覧表があって、ここにある全ての団体について我々がわかっていたかというわかっていたかと思う。HPをみても実態はわからない。だからこういう団体を含めて協議会を立ち上げる。線でやっついては防犯というのは進まないと思う。ヤクルトさんなんかは安全・安心ニュースなどを入れて防犯にかなり力を入れている。だから企業をうまく利用した形で推進していくことが今この分科会で提案していることである。A委員が言うように、一つのことを掘り下げていくと、安全安心だけでなく全てのことが関わってくる。市長がいつも言われるように、協働というのは共に働くことという考え方でありますから。</p>
A委員	<p>ならば防犯協会を協議会にすればいいのではないか。</p>

事務局	<p>前回の協議では、防犯協会から縦つなぎで協議会となっていました。今までですと縦割りのためどうしても情報が縦割りで来てしまう。だから、防犯協会を含めた形で協議会を立ち上げて、その中で協議したものを各小学校区に流して行くというご意見を頂いてこのような組織図となっています。</p>
A委員	<p>防犯協会と安全協議会は別の組織で動くのか。</p>
会長	<p>全ての関係団体を安全協議会に含めて、縦横断的に活動しようという考え方です。</p>
A委員	<p>事務局とか会長とかはどうするの。</p>
事務局	<p>この安全協議会というのは第9回の分科会で各小学校に地域の協議会だけでなく、それらを統括するため、海津市全体の協議会を立ち上げるという意見からこのようになっていきます。事務局とかは提案の結果で協議することになります。</p>
会長	<p>だから安全協議会を立ち上げましょうという提案になっている。</p>
A委員	<p>安全協議会はどういう構成になっているの。代書屋が1人いてNPO担当が1人いて、そんな感じですか。</p>
会長	<p>組織の構成はそれからの話だと思います。ここでこうするのだとピラミッドを作るのではない。</p>
A委員	<p>イメージがわからん。</p>
事務局	<p>P6の提案3をご覧ください。ここに書いてあるように海津市全体の防犯活動を推進するために協議会を設置し、各小学校区にそれぞれの地域に合った活動をするため地域の協議会を設置するという、皆さん意見をまとめたものです。</p>
会長	<p>市内に様々な防犯団体があるが、それがわからないまま推移してきたので、それらを集めて協議会を作って上で、活動していけば各団体が何をしているかよくわかる。防犯灯の設置では今は自治会長からの要望で設置していますが、そうではなく協議会で防犯灯の検討をすればいいのではないですか。そういうのが安全安心につながっていくという考え方をすればいいのですよ。</p> <p>これは一朝一夕にできるものではないですが、できるだけ早く作ってこれが機能すれば、他の福祉などの分野にも広がっていくと思う。</p>
A委員	<p>福祉のことは福祉の専門家がいる</p>
会長	<p>広がりの方を言っていますので。なにも安全安心で福祉までかかわれと言っているわけではないです。そういう組織さえ機能するようになれば、他の方の組織も機能するようになりますよ。</p>

A委員	あんまり組織が肥大化したら機能しないと思いますよ。かたや防犯協会があつて、協議会があつて。
会 長	これからは線の状態ではなく、面の状態にしていくことが必要だと思いますよ。そうでないと協働という状態は生まれません。
A委員	社協で地区社協をやっているのに福祉の方まで踏み込んでいくのはどうかと思う。
会 長	地区社協や企業なども取り込んでいくアイデアの方がいいですよ。企業は協力してくれると思いますよ。
A委員	防犯がテーマなのだから、安全安心がテーマならいいが。
会 長	はじめはそうだったが、考えていったら広がっていったのだから進歩ですよ。
事務局	出てきた意見としては、まず情報が共有されていない。共有する組織が必要である。地区によってそれぞれ課題が違うので、それぞれの取組は各地区でやっていただかなければならない。ということで、まず情報を共有するために海津市安全協議会を立ち上げて、すべての防犯や安全安心活動をしておられる人を集めた安全協議会を作って、そこで情報を共有し合う。それを各地域へ流して、それぞれの地域に合った活動を行っていただく。そういう提案の考えであります。
会 長	それでいいと思います。A地区でやっていることはB地区C地区は知らない状態ではなく、同じ活動はしていても、「うちではこういうことをやっています」ということができますから。例えば青パトなどは南濃町だけでやっている。多分海津平田の人は「青パトって何」という状態になっている。それをみんなに知ってもらう為には、市全体を縦横断的にやる必要があります。
A委員	そういうことを必要としない地域はやらなくていい。
会 長	違う形でやれば別に青パトにこだわることはない。
事務局	実際に活動していくのは各小学校区であつて、その中で地域の課題を抽出して解決していくのです。ですから青パトが必要であるかないかはその地域が考えることです。上の協議会としては「この地区ではこういうことをしていますよ」という情報提供をしていき、各地域では青パトやあいさつ運動などの活動を考える。
会 長	菊本委員からは何かありますか。
菊本委員	A委員が前回から言われていることですが、防犯としての組織としては防犯協会があるので、防犯としては防犯協会が中心にならざるを得ないだろうということがA委員の現状認識だと思います。この組織を分科会として提案するのですが、実際に動かしていく場面では、もしかしたら海津市安全協議会というのを中心となって動かして

	<p>いくのは防犯協会になるのだろうと思います。ただ今までの防犯協会では盛り込まれていない福祉の面や政策の面があって、ここが分科会としては非常に重要だという意見がでていたので、そこのところをどのように今後の防犯のまちづくりに生かしていくのかというところで、この提案としては、防犯協会に諸団体を加えるのではなく、防犯協会を含めた新しい形にした方がいいのではないかと皆さんの提案になったのだと思うのです。</p> <p>これは分科会として、これから幹事会へ提出していくのですが、実際に動かしていく時には、やっぱり防犯協会に音頭を取ってもらわないとだめじゃないかという議論が出てくる可能性はあると思います。ですから実際に動かして実行力のあるものとしては、防犯協会が中心となっていくようになるのは想像できると思いますので、A委員が言われる意見は反映されている形での提案になったことと、とらえていただければよろしいと思います。</p>
A委員	<p>防犯協会だって地区安全ニュースとか出しているし、ああいう組織は会長がたまたま市長とかなっているし、一般住民にはあまり分かっていないし、私の意見としては防犯協会が社会福祉協議会などの組織を含めた最新の組織づくりを再編して、その下に支部を作ってもらって活動してもらおう。</p>
	<p>この提案は地域安全推進員とか補導員とかいろいろ立派なものが入っていて防犯協会にあるわけだ。防犯協会というのはすでに立派な組織になっているわけだ、この中に足りないのは今言った社協とか防犯に関するNPO団体とかであって、小さい団体だから役員に入っていないが、今の組織を単純に見直して充実してやれば、新たに安全協議会なんか作る必要はないと思う。だけど今菊本委員が言ったように古い組織を作り直すより、新しい組織を作った方が活動がしやすいといえそう。私の意見は防犯協会を充実すればいいと思う。</p>
B委員	<p>でも私たちは防犯協会のことはつながりがいいからよくわからない。私たちが防犯協会に「あなたたちの組織を母体にしてしっかりやって下さい」なんておこがましいこと言えますか。それもちよっとおかしいのではないですか。</p> <p>とりあえずここで十何回と検討してきたわけでしょ。それで皆さんそれぞれやっていることがわからないから、横の連携をできるようにしたいから、こういう提案になったのではないですか。ちがいますか。そうですね。ここまで来たのだから一度提案してみてもどうですか。</p>
	<p>もうひとつ聴きたいのですが、この分科会というのはずっと続きますか。</p>
A委員	<p>これで終わりです。</p>
B委員	<p>ここでこの提案が通った後はどうなりますか。</p>
事務局	<p>ここの提案の内容を幹事会で提案していただいて、幹事会は提案を真摯に受け止めて、市長に提案するということです。幹事会では会長さんも入っていただきます。</p>
有井委員	<p>防犯協会のお話が出てますので私から申し上げます。防犯協会は基本的には警察がお願いしたり、警察が好きな方、警察の活動に賛同してくれる方OBの方もそうです</p>

し、各駐在所交番で協力していただける方をお願いしているのが現実の組織構成なのです。防犯協会の1番のメインは情報発信や広報活動が主になってくるのですが、もっとこうなるといいなと思うのは、地域の方が主体性をもって参加していただくと警察としてはもっと活動が広がりを見せるのではないかと思います。一生懸命活動しておられる方もいらっしゃいますし、あまり活動が推進できない面もあったりします。これはどんな組織でもあることだと思います。

今回の防犯協会というのは警察が作った組織なのですよね。海津市安全協議会（仮称）というのは地域住民が主体になった組織とっております。そこに大きな意義があるのではないかと考えております。菊本委員からも各論的なノウハウの部分ですが、そこは防犯協会が情報発信をしたり、意見を協議会に対して言ったりする形になってくるのかと思います。そういう意味の防犯協会の役割というのはあると思います。活動する主体は誰かと言うと、協議会になって地元の人たちが自分たちの問題だということによってやっていく組織作りになっていくと思います。それはすごい意義があることだと思います。

あとは予算的な面のお話ですが、防犯協会は市からの補助金で活動しています。無尽蔵に活動できるというと、防犯協会の資金で街路灯の設置はできないのです。そうするとそれは行政に対する働きかけであったり、地元住民に対する働きかけの形であったり、そこにはどうしてもお願いという形しか出てこないのです。理解を得てもらうためにいろいろやっても「それはそうだけど予算としてはこうだよ」ということになると思います。協議会のような組織ができると、地元の人たちが決定権をもって市に対して住民意見として言うパワーと警察が言うパワーでは全然違いますから、そういう主体的な面と予算的な面で今回の報告案は実現すれば既存の防犯協会がそのままというよりもメリットがあると思います。

B委員

防犯協会は何人ぐらいいますか。

有井委員

防犯協会は市長が会長で副会長が地域安全指導員の総代です。危機管理指導員というのは警察が交番ごとにお願したボランティアです。無報酬で働いている団体の連合会の長の方、あとはこれも警察がお願いした組織ですが接客業防犯協会の長、それから補導員。補導員も警察が委嘱する組織です。その他途中から入ったのが自治連合会長です。これは例えば情報伝達の面などでお願いして伝達していただいています。あと各行政機関の消防や総務課などに官公庁間での連携を図る意味で入っていただいています。

B委員

偉い人ばかりで大変ですね。おもな活動は。

有井委員

活動としては、防犯に関して仕事をお互いにそういう意識付けをもってやりましょうねとか、それぞれの業種単位や組織ごとに問題意識をもって同じ方向に行きましょうねと、そういう連合体の組織ですので。あとは防犯協会の予算を使って広報媒体とか、市民に対する働きかけとかそういうことのために使っています。

A委員

安全協会を作ってもホントに機能するのか。組織だけは立派で、活動できるのか。

副会長	<p>活動は地区毎でやっていますから。私たちもお千代保さんでの活動をしていますし、個々に海津温泉の方でも地域安全指導員がみえるからそちらでも活動しています。A委員が一番にやって下さった小学校の声掛けも、私が今度今尾小学校にいつてやりませう。一度に広げずに、そういう小さなことから始めても広がるから。今度四ツ谷仏師川だから自治会長さんに「顔出して」と声掛けをします。それをまた自治会長さんがどこかの自治会長さんに「うちもこういうことをしたからそちらもどうですか」と広めてくだされば、A委員から始まったことも海津市全体に広がるから、そういう小さなことからできると思います。</p>
C委員	<p>だいぶまとまりだしたし、A委員も理解されたので、この案で進めてはどうですか。</p>
会長	<p>先ほどの有井委員のお話を聞いていると、防犯協会でも温度差がかなりあるようですね。防犯協会に乗っかってというのはちょっと難しいようですから、海津市安全協議会（仮称）で活動していけるようにした方がいい方法だと思います。それで皆さんよろしいですか。</p>
各委員	<p>よろしいです。</p>
会長	<p>今日で最終報告の（案）を、ここで消して下さい。 報告書だけで終わることのないようにお願いいたします。</p>
事務局	<p>それではご指摘いただいた点を修正させていただいて、最終的な報告書として幹事会へ提案させていただきますのでよろしくをお願いいたします。</p>
会長	<p>それでは皆さん長い間安全安心まちづくり検討分科会にご参加いただきましてありがとうございました。それではこの報告書を幹事会へ提出させていただきます。皆様には修正後の報告書を送付させていただきます。これにて安全安心まちづくり検討分科会を終了したいと思います。長い間ありがとうございました。</p>